

大丸有地区のまちづくりと健康経営

2024.12.06(FRI)



井上成 / Shigeru Inoue

三菱地所株式会社

エリアマネジメント企画部 担当部長

兼 新事業創造部

兼 中部支店

兼 一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会 理事

兼 NPO法人大丸有エリアマネジメント協会 アート・アーバニズム総合プロデューサー

兼 大丸有SDGs ACT5実行委員会 実行委員

兼 健康長寿産業連合会 健康都市モデルWG座長



直近5年の取組

- 施設開発プロデュース ※赤字はwellbeing/ヘルスケア関連

「Nagoya Slow Art Center」

2024/3

「Personal Wellness Clinic MARUNOUCHI」

2023/7

「有楽町SAAI」

2020/2

「有楽町micro FOOD&IDEA MARKET」

2019/12

「Medicha」

2018/6

- プロジェクトプロデュース(コトづくり)

「TOKYO WELLCITY by 東京藝術大学」

「有楽町アート・アーバニズム(YAU)」

「丸の内ヘルスカンパニー」

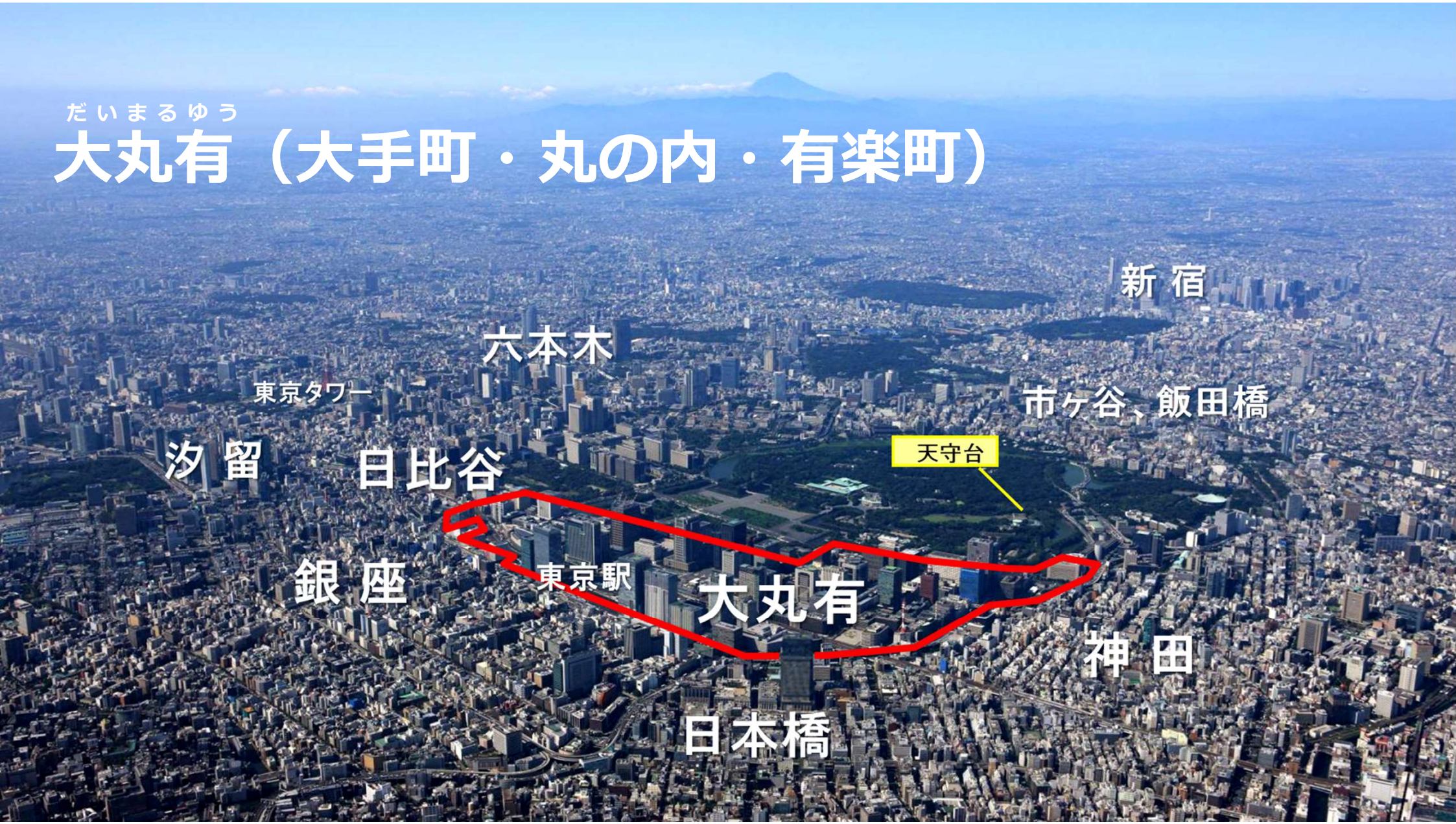
「丸の内ワークカルチャーラボ」

「大丸有SDGs ACT5」

「丸の内 wellbeing 経営倶楽部」

だいまるゆう

大丸有 (大手町・丸の内・有楽町)



新宿

六本木

東京タワー

市ヶ谷、飯田橋

汐留

日比谷

天守台

銀座

東京駅

大丸有

神田

日本橋

大丸有エリア

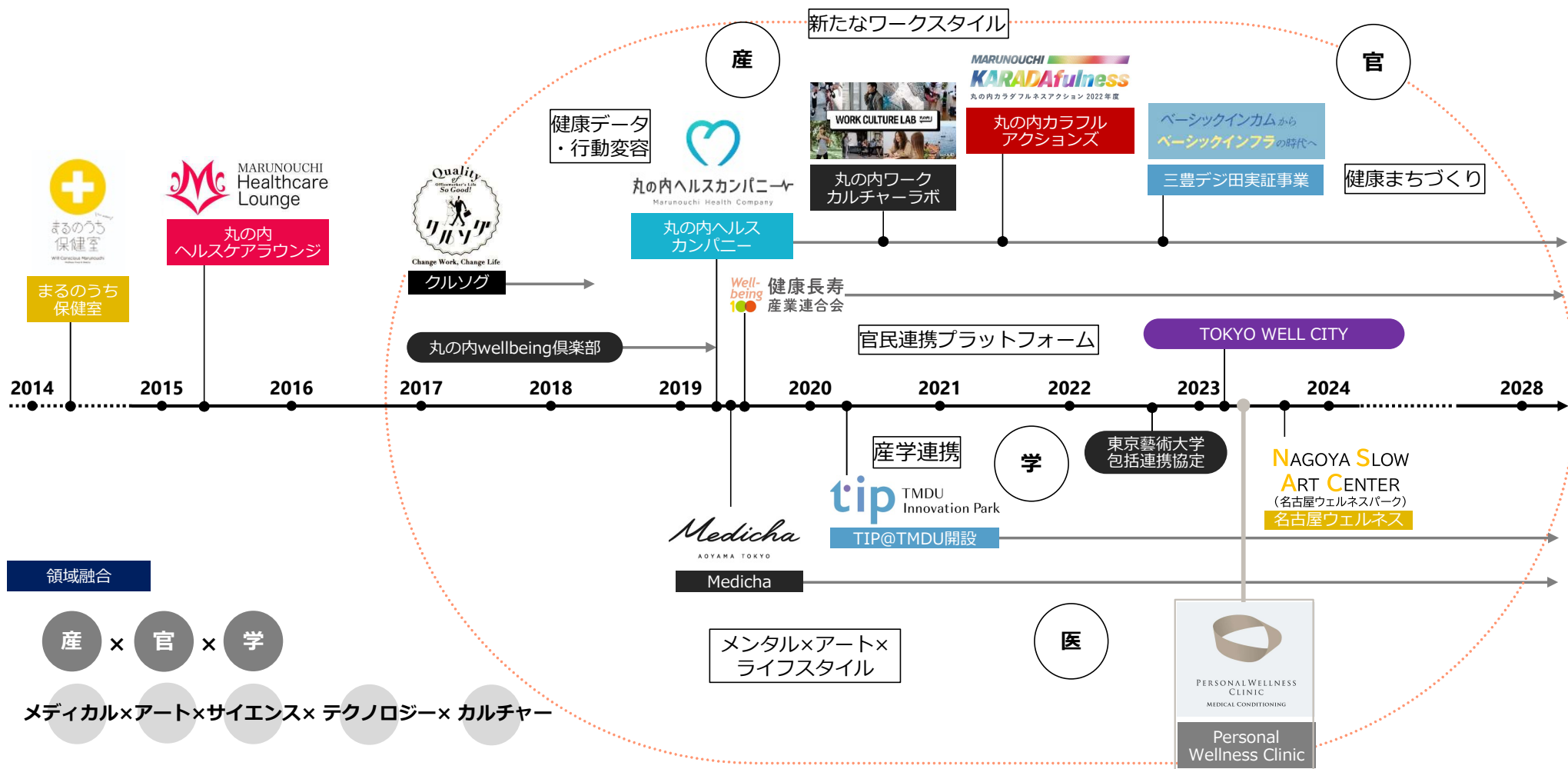


 エリア面積 約 120 ha	 上場企業本社 約 135 社	 連結売上高 約 155 兆円	 事務所 約 5,000 事務所	 就業者数 約 350,000 人	 鉄道 28 路線 13 駅
---	---	--	--	---	---

※『令和3年経済センサス活動調査』（2023年6月公表）より

乗降者数117万人／日

ウェルネス領域における三菱地所の取り組み



「大丸有サステイナブルビジョン」(2013年10月)

1000年続く社会：人々のいきいきとした活動が未来につながる社会へ

私たちが考えるサステイナブルな社会は多様な“人”が主役です。
そして“人”がつながる“コミュニティ”が重要です。

1000年先まで、
いきいきとした
まちでありたい。



人が活発で健やかに活動できるまち

コミュニティを作っていくためには、人がいきいきとしていることが重要です。多様な人がサステイナブルな社会の実現に向けて力を発揮できるとともに、このエリアで活動することによって、自らの健康を考えるきっかけを創出していきます。また健康でいたい人々を支えるサービスが展開しているまちをめざします。

人とまちの健康状態についてのパフォーマンス評価指標づくりや就業者の健康を企業価値の構成要素とする健康経営や健康会計等の導入を支援

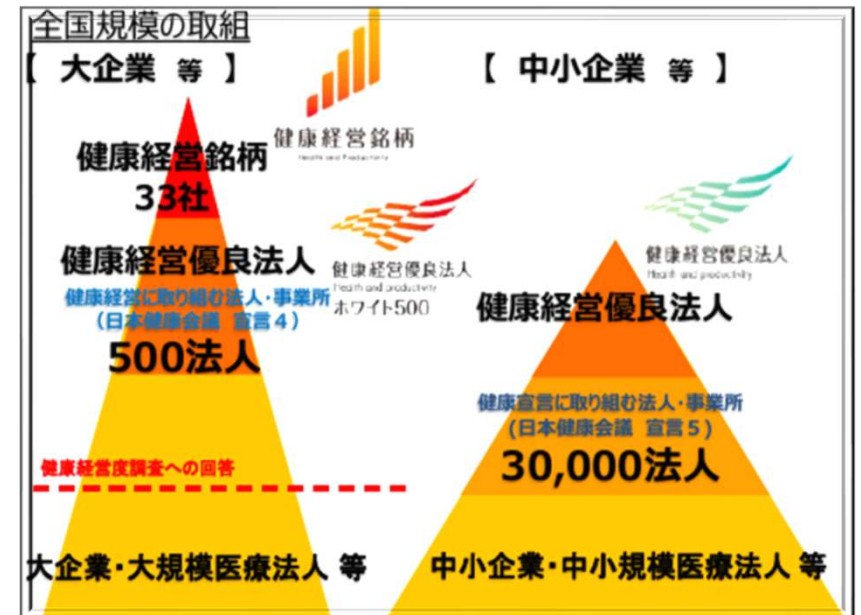
丸の内健康経営倶楽部「丸の内WELL-BEING宣言」(2017年4月)

我々は、より良き社会づくりに資する新しい価値創造の主体として、従業員一人ひとりが活力に溢れ、自己の能力を最大限に発揮できる組織でなければならない。

その観点から、従業員の健康増進は、経営の重要なテーマのひとつとの認識に立ち、従来主流だった不健康要因の除去にとどまらない“積極的健康”の増進に取り組む。

そして、積極的健康すなわち従業員が身体的、精神的、社会的に良好 (WELL-BEING = 幸福)な状態を基盤に、従業員の高いやり甲斐、働き甲斐 (ワークエンゲージメント) を醸成することが企業の持続的成長に不可欠であるとの考えを共有した。

丸の内健康経営倶楽部に参加する各社は、従業員のWELL-BEINGと企業の持続的成長の両立に向け、以下の活動に取り組むことを宣言する。



※ 次世代ヘルスケア産業協議会_2019アクションプラン

WELL-BEINGの定義

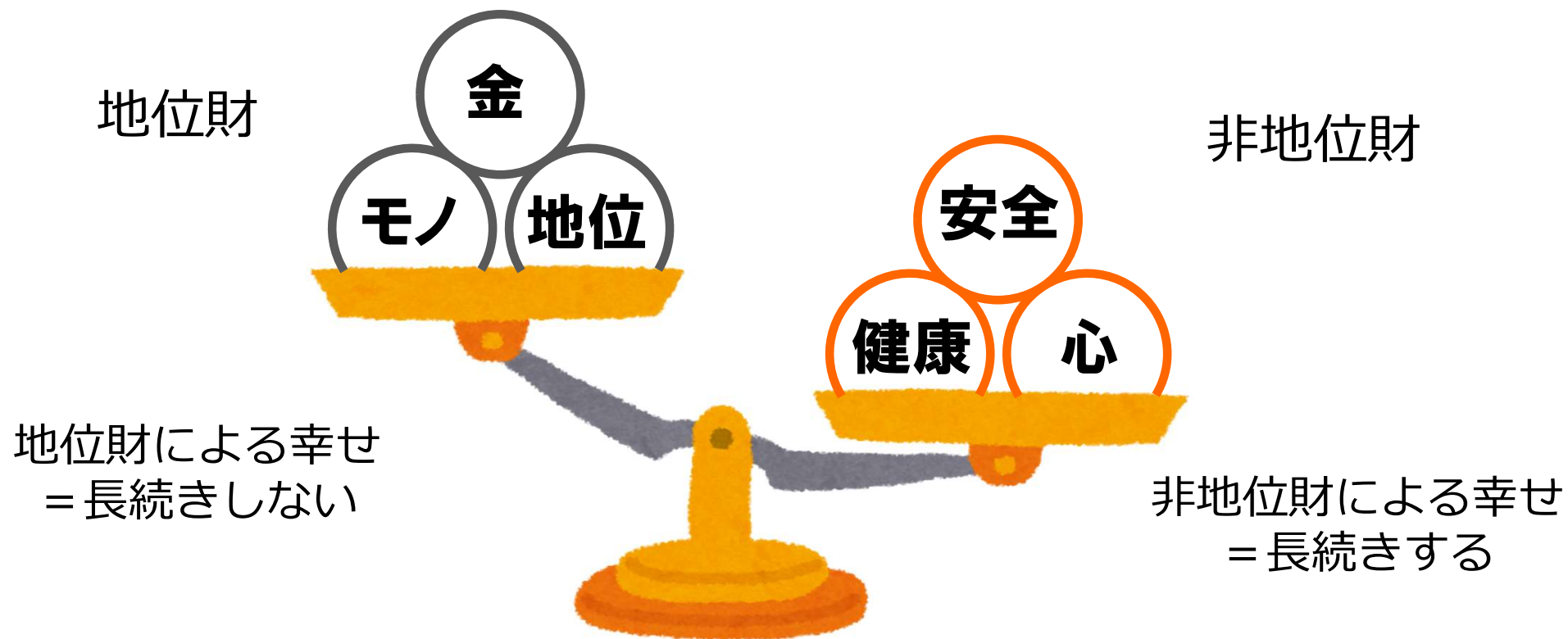
"Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity."

「健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」（世界保健機関（WHO）憲章）

well-being = 積極的“健康” = 幸福

Well-being ≠ Happy

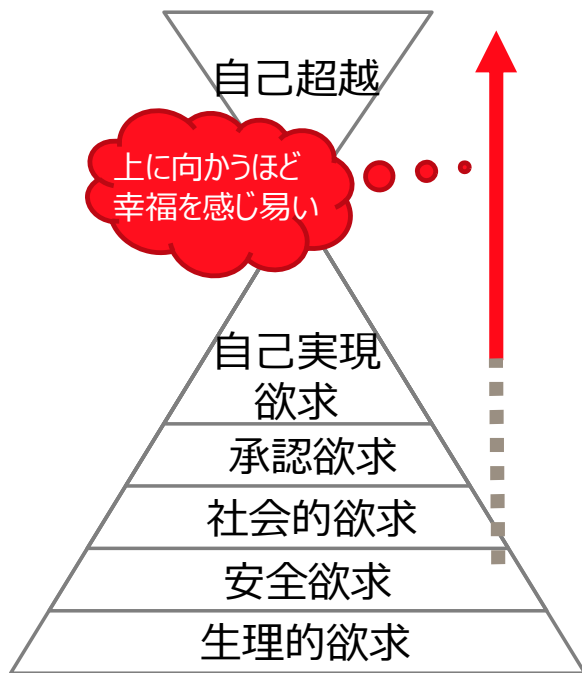
長続きしない幸せと長続きする幸せ



※ 慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科 前野隆司教授のプレゼンシートより抜粋

WELL-BEINGな“街・都市”

WELLBEINGの実現に向けたビジョン、マスタープラン



自己実現
自己超越
の場/
機会
の提供

コミュニティ
形成

安心安全の
確保



① Wellbeingな企業の集積

② 積極的な健康を促すハード/ソフトの充実

- インフラ系：素敵な歩道・広場、自転車道・駐輪場、、、
- 施設系： **FITNESS、CLINIC、RESTAURANT、BEATY&SPA、LIBRARY、**
- ソフト系： イベント、セミナー、アプリ、金融サービス、R&D、地域連携サービス、、

③ コミュニティ醸成を促すハード/ソフト

- 交流施設、インキベーション施設、会員制〇〇
- 企業コンソーシアムによる〇〇、スクール (ex.丸の内朝大学、、)

④ 各種防犯・防災施策 (インフラ/施設/ソフト)

エリア・街を健康/WELLBEINGにする = 健康/WELLBEING×エリアマネジメントの仕組みが大切

WELLNESSのある「暮らし」「街づくり」

三菱地所の健康経営施策

社員の健康管理を経営的な視点で捉え、戦略的に取り組む「健康経営」を推進するため、2016年度に「三菱地所健康経営宣言」を制定

健康診断結果等の分析から、「生活習慣病」・「がん」・「メンタルヘルス」を「健康課題」と位置付け、これらの予防・改善に向けて取り組んできた。



3大健康課題の予防・改善に向けて、カラダ改善コンテストの実施等定期的な運動を促す施策や、定期健診におけるがん検診の拡充、精神科産業医との契約など各種施策を実施。

長期経営計画2030を実現するためには従業員の心身の健康が土台になると捉え、2020年度に健康課題の再分析を行い「健康経営計画2030」を策定

従業員の健康課題を再分析した結果

生活習慣病	がん	メンタルヘルス
<ul style="list-style-type: none"> 継続して医療費全体に占める割合、医療費／人は高い傾向にある。メタボ系疾患患者数もやや増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療費／人は低減したが、患者率はやや増加傾向にある（早期発見が出来ている傾向にある） 	<ul style="list-style-type: none"> メンタル不調は労働生産性の低下、休職につながり、従業員にも会社にも与える影響は大きい。引き続き重視する項目と判断

2023年度 総評 参加者 : 7社/1200名

- ✓ 継続率 : 96%
- ✓ 脂肪減少量 : 1,400kg
- ✓ 筋肉量増加者 : 330人
- ✓ 総歩数 : 40万km
- ✓ 筋肉増加量 : 250kg
- ✓ 平均歩数 : 12,000歩



カラダ改善コンテストとは

部署を代表するチーム間で競う「チーム対抗戦」です。

- 1チーム、4～6名(原則5名)で編成します。



We are the team!

さらに、各チームに所属する個人の頑張りを競う「個人戦」も行います！

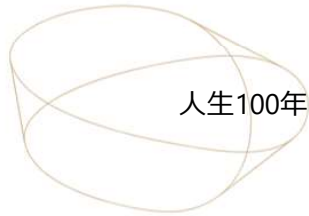


2024年度 [実施中] 参加者数 8社/ 1,500名



テナントと協業した未病・予病の取り組み促進

PERSONAL WELLNESS CLINIC



人生100年時代を、専門医療でサポートします

MEDICAL AS A SERVICE

CONCEPT

Personal Wellness Clinicは、Medical as a Serviceをコンセプトにパーソナライズされたヘルス&ウェルネスプランの作成と実行を推進するサブスクリプション型メディカルケアサービスです。



チーフパーソナルウェルネスドクター
田中 俊一

医学博士
医療法人みなとみらい理事長
横浜市立大学大学院医学研究科客員教授
日本糖尿病学会 専門医・指導医

早稲田大学理工学部数学科を経て、横浜市大医学部卒。その後、米国マウントサイナイ医科大学助教授、国際医療福祉大学教授、横浜市立大学教授を経て、毎月5000人以上の糖尿病患者、3000人以上の睡眠時無呼吸患者が通院する医療法人みなとみらいの代表として首都圏エリアで11のクリニックを運営し、患者の日常データを電子化し科学的な医療を実現することを目指して日々活動している。

最先端の検査で得られるメディカルデータとヘルスケアデバイスから取得する日常の健康データをもとに、パーソナルウェルネスドクターが、あなただけのコンディショニングプランをコンサルティングします。

身体機能から各種臓器・免疫機能、神経・認知機能を包括的に診断し、安全で最新の個別化治療を提供いたします。

こうした先進の科学技術を活用し、120歳まで人生をアクティブに謳歌する“ウェルネス社会の実現”を目指しています。

- **パーソナルウェルネスクリニック丸の内** 03・6665・9155
- 所在：東京都千代田区丸の内2丁目7-3東京ビルディング3階
- 内容：自由診療：先端機器・デバイスによるモニタリング（全27種類）
主治医によるコンサルテーション（30分～1時間/人）
サブスクリプションモデルによる診察と個別化治療 等
保険診療：糖尿病、生活習慣病、甲状腺疾患、睡眠時無呼吸症候群、一般内科

➤ 三菱地所との連携

2022年9月 ウェルネス施設に関するパートナー契約締結

➤ クリニック内各種サービス

Conditioning Room



日々のコンディション支援

Medical Check



データに基づく診察・診療

Low Oxygen Room



短時間で高い運動効果

Sleep Lab.



睡眠を科学的に評価

Meditation Pod



感情と思考のデトックス

Cryobath



筋肉疲労の回復促進

テナントと協業した女性活躍支援・健康支援

「働く女性 健康スコア」

参加者約300人を対象に健康診断並びに記述式アンケート調査を行った白書（※）より、アンケート調査項目を開発

男女画一的な調査ではこれまで把握しづらかった領域を産学医連携したスキームで見える化する試み



「産学医ウェルネス

ワーキング」



marunouchi
保健室
Will Conscious Marunouchi
Wellness Food & Beauty

5つの項目



— 2023年度 —

14社が参画 働く女性 3,425名が回答

参画企業のネクストアクション（2022年度）

CASE1 :福利厚生サービスへの経膈エコー検査の追加

CASE2 :不妊治療・PMS治療の費用補助導入※上限あり

CASE3 :がん検診（子宮・乳房）の健診基本項目への組み込み

健康×エリアマネジメントの取り組み

丸の内ポイントアプリ



丸の内ポイントはエリア内でのショッピングや食事でも
たまり支払いにも使えるエリア限定ポイント
アプリ会員**24.7**万人/対象店舗は**600**店舗以上

◇丸の内ポイント×健康イベント

【ラジオ体操】

オフィスワーカーの健康増進のため、2015年から開催しているイベント。丸の内仲通りにワーカーが集まり、リアルな場で同僚たちと身体を動かす。

6日間で約1900名が参加※2024秋



【プロギング】

みんなでジョギングしながら街のゴミ拾いをするイベント。大丸有ワーカーのWELL-BEINGやエリアのごみ問題に対して向き合う新しいアプローチとして定期的開催。



エリアの健康イベントに参加することで丸の内ポイントを獲得



エリアの大規模プラットフォームを活用し、
イベント・ゲーム感覚で**お得に・楽しみながら**
健康になれる仕組みづくり



F I N

